

第49回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第49回「あいおの会」

第49回あいおの会は、2月7日 国際医療福祉大学熱海病院の大会議室で行われました。

今回は、今年度最後の会ということで失語症患者様8名、ご家族様2名、言語聴覚士10名が参加し、20名が集まりました。値段当てゲームと思い出の写真を入れられる写真立て作りを行いました。値段当てゲームは、値段が書かれていない広告を見て3000円になるように予想して選びました。なんと、3000円ぴったり選ぶことが出来た方は3名もいらっしゃいました。写真立て作りは、何も書かれていない写真立てに桜や梅のイラストなどを貼り付けたり、ペンで模様を書いてオリジナルの写真立てを作りました。最後に、「上を向いて歩こう」「たき火」を皆さんで楽しく歌いました♪

次回は **4月24日(日) 13時**に予定されています。

出欠席をとりますので、**4月16日**までに国際医療福祉大学熱海病院(Tel.0557-81-9171)までご連絡いただけますと幸いです。



それぞれ、チラシから品物を選んでいきます。



好みのデザインで写真立てに飾りつけました。